

学校図書館活性化推進事業「胆振管内学校図書館関係者研修会」について

学校図書館の効果的な活用や魅力ある学校図書館づくりなどを目的として、学校関係者や公立図書館職員などを対象に、研修会を実施しました。

約40名が参加し、子供にとって一番身近な図書館である学校図書館の一層の充実について研修を深めました。

【研修会概要】

- 1 日時 平成26年7月28日（月）10:00～15:30
- 2 会場 室蘭市立旭ヶ丘小学校
- 3 研修内容

講義

今、求められる学校図書館

■講師

全国学校図書館協議会スーパーバイザー 野村 邦重 氏

■内容

- ・全ての学習ベースは「読む力」。
日常生活の中で必ず活かされる。
- ・朝読書の4原則
 - ① みんなで
 - ② 毎日
 - ③ 好きな本を読む
 - ④ ただ読むだけであり、
教員間の共通理解を図り取り組むことが必要。
- ・学習活動に必要な図書を学校間で融通しあう。
- ・思考力、判断力、表現力の育成には、ねらいを明確にした「読書活動」の推進や、望ましい読書習慣の確立に向けた「朝読・家読」の推進、学校図書館を活用した情報活用能力の向上が求められる。



●参加者の声●

学校図書館の機能をいかに充実させるかということが非常に大切だということを改めて痛感し、身の引き締まる思いです。

●参加者の声●

興味深い取組があり、参考になりました。読んだ本の記録や飾り付けの仕方など、できるところから実践したいと思います。

事例発表

学校図書館の効果的な活用

■事例発表者

室蘭市立海陽小学校教諭 石原 梨紗 氏

■内容

- ・新着図書のコーティング作業や2か月に1度行う図書館の壁面装飾、特集コーナーづくりなどを、PTA ボランティアが主体となっていて行っている。
- ・代本板を廃し、1人2冊まで貸し出せるようにしたり、図書委員会で貸出冊数に応じてしおりをプレゼントしたりするなどの取組を始めた。
- ・利用人数や貸出冊数が2～3倍となった。



講義

魅力ある図書館づくり

■講師

道立図書館総務企画部企画支援課企画主幹

桑原 裕子 氏

■内容

- ・子供が集まるような図書館づくりに向けたリニューアルポイントは4点ある。
 - ① 図書の更新
 - ② ディスプレイ
 - ③ 表示装飾
 - ④ レイアウト
- ・定期的に図書館の点検を行い、学校図書館図書廃棄基準を参考にして、内容が古い本は除架（書棚から取り除く）する必要がある。
- ・除架により空いたスペースを使って、本の表紙を見せるようなディスプレイをするなどの工夫が必要。



●参加者の声●

除架について、とても参考になりました。学校図書館の環境改善について、すぐから実践していきたいと思いました。

※協議について

他校の担当者と交流ができて、良かったです。学校の奥にある学校図書館をどのように活かすかについて、交流できました。

★事業詳細についてのお問い合わせは

胆振教育局社会教育指導班(0143-24-9893)まで